



# 会津放射能情報センター NEWS

住所：〒965-0877 福島県会津若松市西栄町 8-36 Tel & Fax：0242-23-9401  
開館日：水木金土曜 10時～16時（国民の休日を除く）  
E-mail：info@aizu-center.org 公式 blog：http://ameblo.jp/mamorukai-aizu/  
Web：https://aizu-center.org



2021年3月25日発行

第34号

会津放射能情報センター

検索

## 東京電力福島第一原発事故から10年を迎えて 会津放射能情報センター代表 片岡輝美

2月13日の夜、震度6強の地震が再び東日本を襲いました。揺れを感じた私たちだけでなく、震源地から遠く離れていた皆さんも3.11を思い出し、不安と恐れを感じたことでしょうか。被害が大きかった福島市や郡山市などの中通りは、一昨年水害で被災した地域もあり、幾度もの災害に心身ともに大きな痛手を負っていることと思います。被災した皆さまに心からのお見舞いを申し上げます。

「東日本大震災から10年」を目にする度に、人間の身勝手な時間の区切り…と感じてきましたが、今



回の揺れは東日本大震災の余震と聞き、それをまざまざと突き付けられた思いです。10年なんて、自然にとっては本当に僅かな時間の流れなのです。

さらに、国が30～40年で廃炉を目指すとした「中長期ロードマップ」も、人間の都合に合わせた区切りでしかありません。昨年9月に行われた「これ以上海を汚すな！市民会議」経産省交渉では、何を持って廃炉とするのか？と参事官を問い質しましたが、全く答えられませんでした。今年2月22日、衆議院予算委員会で共産党・高橋千鶴子議員が小早川智明東電社長に、今年中に燃料デブリの取り出しが可能なのか、何を持ってデブリの取り出し開始とするのかと追究しましたが、小早川社長は「柔軟な対応をしていきたい」と回答するだけ。最後に高橋議員は「無理なものは無理だと国に言うべきだ」と結びました。

余震を感じながらも、安堵したことがふたつありました。ひとつは2019年8月から2020年5月まで行われた1、2号機排気筒解体です。高さ120メートルの上部半分に幾つもの破断や損傷があり、倒壊の恐れがありました。解体作業は高線量のために遠隔操作で行われる計画でしたが、結果的には作業員

が排気筒に上がり作業を進めました。作業員に被ばくを強いたことは許されないことですが、解体前に地震が起きれば原子炉に倒壊し、誰も近づくことはできなくなったかもしれません。

もう一つは、モニタリングポスト（MP）の撤去を阻止したことです。2018年3月、原子力委員会は2020年度末に県内3000台の内2400台を撤去する方針を発表。除染が進み空間線量が低くなったことが理由でしたが、事実は復興予算がなくなるから。しかし、日常の数値の確認と緊急時の避難の判断のためにMPは必要だ、と母親たちを中心とした市民が各地で声を上げて行政を動かし、国の方針を撤回させました。今回の揺れで「慌ててMPの数値確認をした！MPがあって本当によかった！」との声も聞いています。

それでも10年前の爆発と放射線で原子炉の傷みは進んでいます。事実、今回の地震で1号機、3号機格納容器に漏洩が起き、水位が下がっていると東電は2月19日夜に緊急記者会見を開きました。その後、1号機の気圧も低下していると報道。水位低下により格納容器の損傷部分が水面上に露出し、空気が漏れていると思われます。東電も人が入れない原子炉内の様子は全く分かりません。情報を収集して判断



する他に手立てはありません。このように10年経た原発では、今も厳しい状況が続いています。

ですが、振り返れば多くの笑顔と

の出会いもありました。励まし合ったあの時、子どもたちの成長を喜びあったあの時…。閉塞感に打ちひしがれた日々だったからこそ、その出会いが輝いて思われます。

厳しい現状が続く中、それでも、私たちができることはいくつもあります。春の陽ざしの中、成長していく子どもたちと共に、私たちにできることを探していきましょう。

## ■ 2020年12月～21年2月の感謝報告 ■

いつもセンターの働きをお憶えくださり、ありがとうございます。年会費および協賛金をお届けくださった方を記載しています。特記なき教会伝道所や教区などはすべて「日本基督教団」です。万一、記載漏れがありましたらお手数ですがご連絡ください。12月16日～2月26日の受付分となります。(敬称略・到着順)

### ■個人

岡本美恵子、大木正人、ジェフリー・メンセンディーク、布施濤雄、ロブ・ウイットマー、圭子・ウイットマー、小西文江、東海林裕美、中村光一、斉藤恵美子、中川宗洋、中川葉子、美濃怜子、小出敏市、くずめよし、谷岡賢一、明比輝代彦、塚原善行、田中直子、古賀悦子、山下 光、西岡裕芳、三吉 明、鈴木 祈、中澤晶子、高橋幸子、岩崎恵美子、小林順子、中越洋子、片岡平和、久保彩奈、福知千恵、渡辺洋子、森田喜之、安倍愛子、秋田義彦、秋田明子、坂野龍英、横山幹央、立岩秀彦、ロビン・デュブイ、幡江美智子

### ■団体

熱田教会、保内教会、下ノ橋教会、京都上賀茂教会、桑名教会マナの会、平塚中原教会、浦和友の会、新潟教会婦人会、仙台北三番丁教会、代田教会、水口子どもの教会、宿河原教会、安中教会教会学校、岩国教会、No Nukes Goods Projects、デイサービスセンター三愛めぐみ子ども園、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学キリスト教センター、鶴川シオン幼稚園、甘楽こひつじこども園、山梨英和中学校・高等学校、久万カントリー・チャペル、河内松原教会、イエス団みどり野保育園、須磨教会、長崎銀屋町教会、姫路野里教会、茅ヶ崎堤伝道所、日本聖公会東京教区聖マーガレット教会、日本バプテスト宣教団池田キリスト教会、元江別わかば幼稚園、水沢教会、日本キリスト教婦人矯風会四国部会、日本キリスト教婦人矯風会徳島グループ、宮古教会、滝川二の坂伝道所、中野桃園教会、みどり保育園、宇部緑橋教会、宇部教会、美唄キリスト教学園、島原教会、愛隣教会、富士見高原教会、認定こども園ひかりの子、東所沢教会、松山教会、矢吹教会、今治教会、刈谷教会、多度津教会、いずみ教会、共愛中学・高等学校、鹿児島加治屋町教会、東梅田教会、日本福音ルーテル室園教会女性会、高槻南平台教会、高槻教会、青森教会、更生教会、水戸教会、世光教会、南山教会青年会、武蔵野扶桑教会、阿佐谷東教会、東神戸教会、相模翠ヶ丘幼稚園、西千葉教会、桑名教会、神戸教会、北光幼稚園、鎌倉恩寵教会、山本愛泉保育園花の会、横浜共立学園、十日町教会、同志社教会・同志社大学キリスト教文化センター、敬和学園高等学校、甘楽教会、天使幼稚園、錦林教会・ペスタロッツ保育園、天満教会、札幌元町教会、豊岡教会、二宮教会、西南学院高等学校、瀬戸内教会かな保育園、光教会、三原教会、恵泉女学園大学キリスト教センター、紫野幼稚園、柳井教会、関西学院宗教活動委員会、伏見教会、甲府YWCA、中予分区分教会婦人会連合、真駒内教会こどもの教会、南山教会、松本教会、松山城南高等学校、洲本教会、石橋教会婦人会、浦安教会、神戸栄光教会社会委員会、仙台北教会、いずみ愛泉教会子どもの教会、矯風会安中グループ、横浜英和学院、鳳教会、名古屋YWCA、新潟教会、新生釜石教会、核問題連絡会、福岡城東橋教会、小田原教会、津久見教会、全国教会婦人会連合、西片町教会、甘楽教会 CS、西大和教会

### ■支援品

山崎知行、早稲田教会婦人会、松山城南高等学校

## 速報！子ども脱被ばく裁判は高裁控訴へ

3月1日、福島地裁法廷に現れた遠藤裁判長は判決理由も述べず、数行の判決を読みあげ数分で退席。判決は、まるで被告代理人の陳述そのもの。大きな落胆と共に「怒りの声」が湧き上がりました。二週間で原告の控訴意向確認が行われ「不当判決を認めるわけにはいかない！」と原告125人が控訴を決断。今後、法廷は仙台高裁に移り引き続き低線量内部被ばくや不溶性放射性微粒子の危険性、国・福島県が子どもを無用な被ばくから守らなかった責任を問います。どうぞ、ご支援ください。



## ■ 2021年1月～3月の活動報告 ■

### ■ 1月

- 24日 東電刑事訴訟支援団 オンライン集会  
「原発事故から10年 ここまで明らかになった真実」
- 31日 これ以上海を汚すな！市民会議 オンライン集会  
「どうなっちゃうの？ふるさとへの海～市民の目で見る汚染水」片岡輝美

### ■ 2月

- 4日 リモートおしゃべり会 13名
- 11日 「2.11 思想・信教の自由を守る新潟集会」  
会場61名、オンライン参加者14名 報告：片岡輝美
- 13日 「子ども脱被ばく裁判判決直前」西日本集会  
オンライン参加者78名 片岡輝美

### ■ 3月

- 1日 子ども脱被ばく裁判第28回期日・判決 120名
- 8日 取材：韓国テレビ局YTNの「Algorizoom」片岡輝美
- 8日 国連人権理事会でオンラインスピーチ  
「汚染水海洋放出反対の呼びかけ」 片岡輝美
- 11日 原発いらぬ福島の子たちオンライン集会  
「第10回原発いらぬ地球の集い」 片岡輝美
- 13日 伊方原発をとめる会 報告：片岡輝美  
「福島をくり返さない！3.13 記念講演」70名
- 16日 「福島県へ甲状腺検査の継続を求める要請文」  
会津若松市長に提出
- 18日 リモートおしゃべり会6名
- 27日 元自主避難者 リモートおしゃべり会

## ■ ホームページをご覧ください ■

センター関連のニュースや、代表が発信する「福島原発核事故関連情報」、本の紹介、このセンターNEWSのバックナンバーなどを掲載しています。(アドレス、QRコードは表紙に記載)

## ■ センター会員募集と年会費納入のお願い ■

年会費や協賛金のご送金は、同封のゆうちょ銀行「払込取扱票」をご利用ください。

- ・年会費：個人会員：3,000円 団体会員：5,000円
- ・協賛金：金額自由で随時受け付けています。

### ●振り込み先(ゆうちょ銀行口座)

- ・ゆうちょ銀行から送金の場合  
記号：02270-2 番号：116030
- ・他銀行口座から送金の場合  
店名：二二九 店番：229  
種目：当座預金 番号：0116030